

別添資料 2

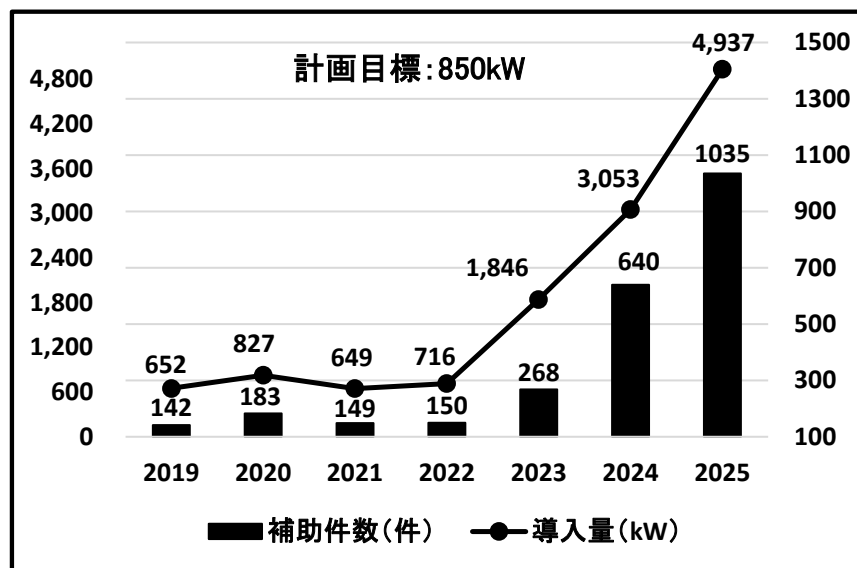
第三次足立区環境基本計画改定版の成果指標・活動指標の実績と推移

柱 1 地球温暖化・エネルギー対策

指標と単位 (◆：低減目標)			2025 年度 実績 (目標達成率)	計画目標	目標達成率 前年度比
1-1	成果	区内のエネルギー使用量 (TJ) ◆ 【2 年前の実績値】	22,030 (84.8%)	18,679	+2.4pt
	活動	助成制度による省エネ支援件数 (件)	924 (225.4%)	410 (※1)	+41.3pt
	活動	省エネルギーを心がけている区民の割合 (%)	50.6 (72.3%)	70.0	△3.3pt
1-2	成果	再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量 (t)	26,300 (119.5%)	22,000	+15.7pt
	活動	区の助成による年間の太陽光発電の導入量 (kW)	4,937 (580.8%)	850 (※2)	+221.6pt
	活動	再生可能エネルギーの導入量 (累計) (kW)	59,779 (132.8%)	45,000	+17.5pt
1-3	成果	区内の二酸化炭素吸収量 (t)	3,601 (92.3%)	3,900	△0.4pt
	活動	樹木被覆地率 (%)	9.7 (99.0%)	9.8	±0.0pt
	活動	緑化活動に実際に参加した区民の割合 (%)	18.5 (106.3%)	17.4	△29.3pt
1-4	成果	熱中症や気象災害による死者数 (人) ◆	実績の確認元である東京都監察医務院からの要望により、令和 7 年度実績から公表が不可となった。		
	活動	熱中症対策講座受講者数 (人)	6,249 (781.1%)	800 (※3)	+124.6pt
	活動	河川の氾濫時の避難場所を決めている区民の割合 (%)	94.1 (117.6%)	80.0	△0.2pt

※1、2、3 第四次環境基本計画の策定では、実情に合った目標設定となるよう見直しを進めている。

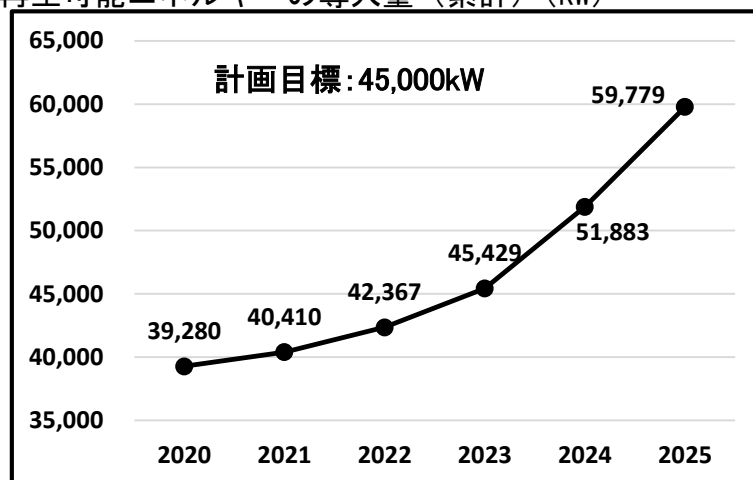
【１－２ 活動】 区の助成による年間の太陽光発電の導入量（kW）



各年度の助成件数も併せて表示

- ① 2022 年度までは、申請件数が年 150 件程度で推移してきたが、区と都の補助制度の併用による経済的効果の高さや、周知強化などにより申請数が増加した。
- ② 電気代の高騰により、蓄電池との併用による自家消費の意識が高まったこともニーズの拡大に影響していると考えられる。

【１－２ 活動】 再生可能エネルギーの導入量（累計）（kW）



資源エネルギー庁「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法情報公表用ウェブサイト」の足立区の導入容量（累計）

（太陽光発電設備の新規導入件数）

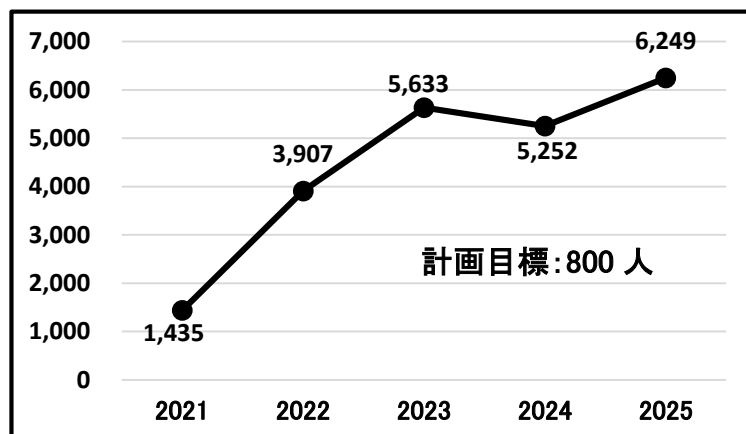
10kW 未満の設置は 2,027 件、導入容量は 7,854kW であった（2024 年度の 10kW 未満の新設は 1,791 件、6,439kW）。

10kW 以上 50kW 未満では、新規設置 1 件、導入容量は 39kW（2024 年度は 0 件）であった。

（参考）太陽光パネルの設置容量と面積（目安）

10kW⇒100 m²⇒ 30 坪 50kW⇒500 m²⇒150 坪

【１－４ 活動】熱中症対策講座受講者数（人）



(2025 年度実績内訳)

ア 主に高齢者 4,674 人

各住区センターの「涼を得るイベント」内で実施。

催しの実施数や定員数を増加したことで実績も増加している。

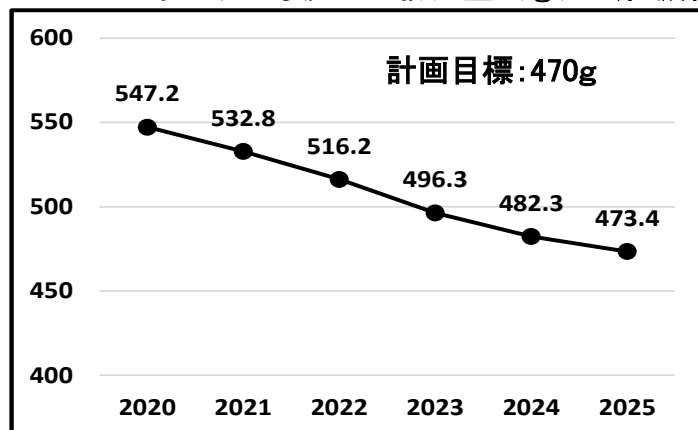
イ 小学生 1,575 人

「地球温暖化」「気候変動と防災」等をテーマにした講座の実施

柱２ 循環型社会の構築

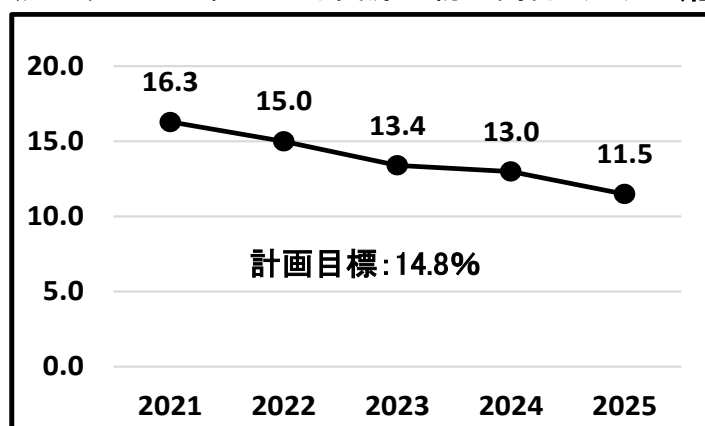
指標と単位 (◆：低減目標)			2025 年度 実績 (目標達成率)	計画目標	目標達成率 前年度比
2-1	成果	区が把握できる廃棄物の量（t）◆	183,853 (102.3%)	188,000	+1.9pt
	活動	区内のごみ量（t）◆	158,944 (99.7%)	158,400	+1.7pt
	活動	1人1日あたりの家庭ごみ排出量 (g) ◆	473.4 (99.3%)	470	+1.9pt
2-2	成果	燃やすごみに含まれる資源化物の割合（%）◆	11.5 (128.7%)	14.8	+14.9pt
	活動	適正排出のための指導（ふれあい指導）件数（件）◆	2,761 (59.1%)	1,632	△13.3pt
	活動	雑がみを燃やすごみではなく、資源として出している区民の割合（%）	55.1 (78.7%)	70.0	△3.4pt
2-3	成果	資源化率（%）	19.6 (91.2%)	21.5	△0.9pt
	活動	資源買取市の利用者数（人）	1,951 (30.0%)	6,500	△10.3pt
	活動	環境に配慮した製品を選んで使っている区民の割合（%）	10.8 (77.1%)	14.0	△2.9pt

【2－1 活動】 1人1日あたりの家庭ごみ排出量（g）（低減目標）



- ① 区民1人の1日あたりのごみ（燃やすごみ・燃やさないごみ・粗大ごみ）排出量は、2021年度以降、減少傾向で推移している。
- ② 区内の人口が増加しているにもかかわらず、ごみ総量は減少した。特に、燃やすごみは、プラスチック分別回収モデル事業による影響も反映されたと考えられる。

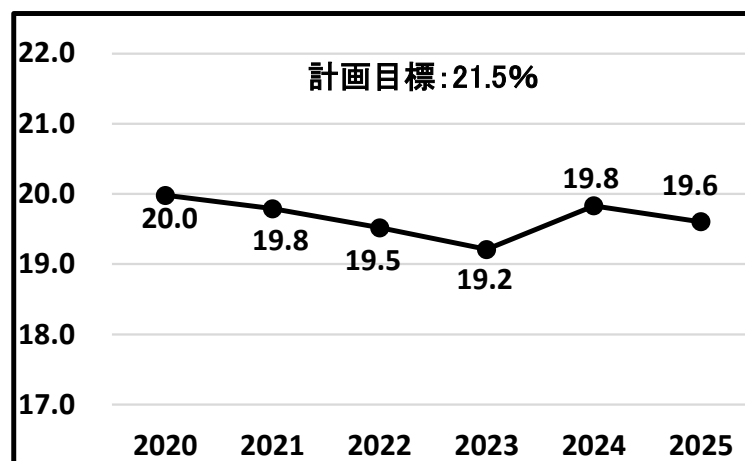
【2－2 成果】 燃やすごみに含まれる資源化物の割合（％）（低減目標）



2020年度は組成調査未実施

- ① プラスチック分別回収区内全域展開に向け SNS や動画配信等、情報発信を積極的に行ったことで実績の向上につながった。
- ② 2025年度の世論調査結果では、「ごみと資源の分別を実行している」と答えた区民の割合は85.2%と高く、分別への意識の高さが実績に表れている。

【2-3 成果】資源化率（％）



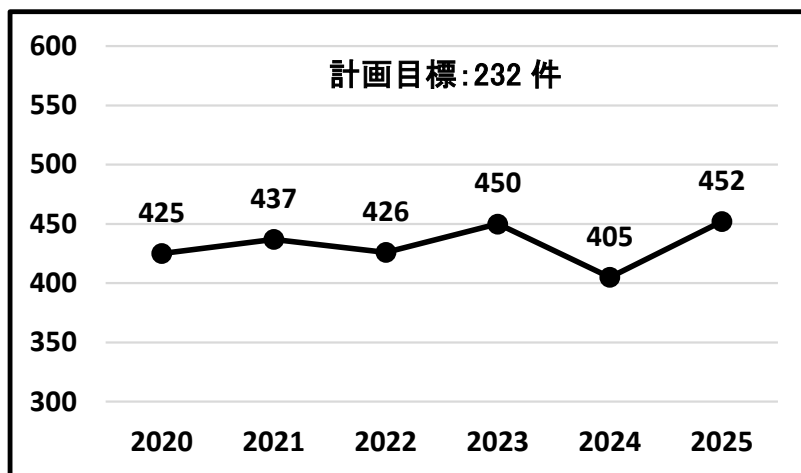
資源化率

（資源回収量＋燃やさないごみを資源化した量＋粗大ごみを資源化した量）÷（区が収集したごみ量＋区が収集した資源化物量＋集団回収量）×100

柱3 生活環境の維持・保全

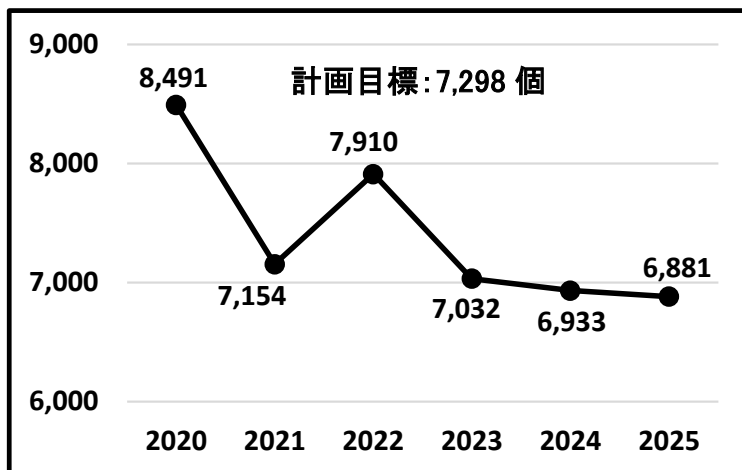
指標と単位 (◆：低減目標)			2025 年度 実績 (目標達成率)	計画目標	目標達成率 前年度比
3-1	成果	公害苦情の相談件数（件）◆	452 (51.3%)	232	△6.0pt
	活動	公害苦情相談の解決率（解決件数／受付件数）（％）	92.7 (92.7%)	100	△1.6pt
	活動	適切なアスベスト対策を行っている解体等工事現場の割合（％）	53.0 (106.0%)	50.0	＋6.0pt
3-2	成果	ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合（％）	58.8 (117.6%)	50.0	△6.0pt
	活動	ごみゼロ地域清掃活動の参加者数（人）	61,654 (77.1%)	80,000	＋0.1pt
	活動	不法投棄処理個数（個）◆	6,881 (106.1%)	7,298	＋0.8pt

【3－1 成果】公害苦情の相談件数（件）（低減目標）



- ① 従来の苦情発生源である工場や指定作業場から建設作業等による苦情が多くなっている傾向がある。

【3－2 活動】不法投棄処理個数（個）（低減目標）



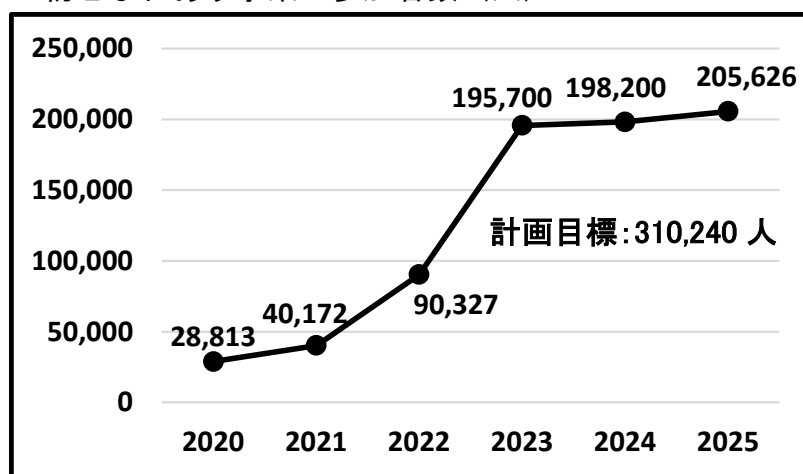
不法投棄され、区が処理したごみ、自転車、バイク、家電の合計

- ① 不法投棄対策は、通報協力員の通報強化や不法投棄されにくい環境づくりを行った結果、不法投棄の未然防止につながり、処理個数が 6,881 個と前年度比 52 個 (0.7%) 減となり目標を上回った。

柱 4 自然環境・生物多様性の保全

指標と単位 (◆：低減目標)			2025 年度 実績 (目標達成率)	計画目標	目標達成率 前年度比
4-1	成果	自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合 (%)	27.1 (67.8%)	40.0	+2.3pt
	活動	生物とふれあう事業の参加者数 (人)	205,626 (66.3%)	310,240	+2.4pt
	活動	自然や生物に関する情報発信回数 (回)	2,869 (89.7%)	3,200	△8.1pt
4-2	成果	まちなかの花や緑が多いと感じる区民の割合 (%)	62.8 (97.5%)	64.4	+0.3pt
	活動	保存樹林指定箇所数 (箇所)	31 (103.3%)	30	±0.0pt
	活動	緑豊かな景観形成に取り組む団体・区民の数	1,193 (90.9%)	1,312	△1.6pt

【4-1 活動】生物とふれあう事業の参加者数 (人)



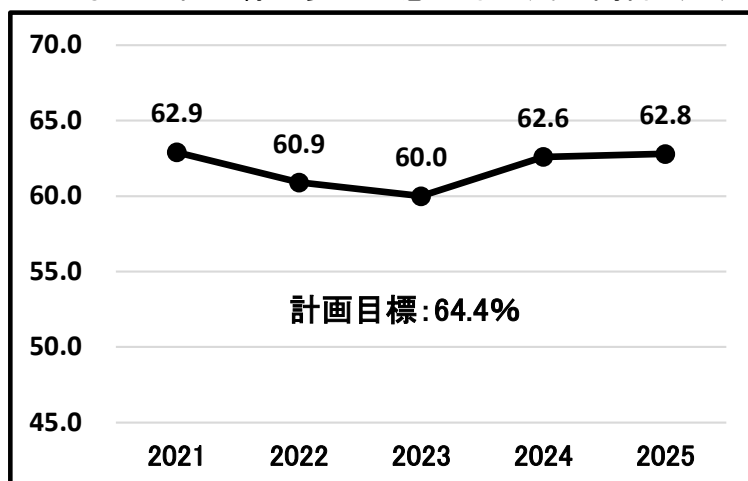
(内訳)

ア 生物園、都市農業公園、桑袋ビオトープの事業：202,564 人

イ あらかわ自然体験ウォークラリー、環境学習ツアー、「あだち生きもの図鑑をつくろう」(アプリを使い区内で見つけた生きものを撮影、投稿するイベント)等：3,062 人

- ① 自然環境について学び、体験する環境学習事業については、熱中症リスクを考慮し実施事業の見直しを行ったことにより、参加者数が全体で増加する結果となった。

【４－２成果】 まちなかの花や緑が多いと感じる区民の割合（％）



世論調査の質問項目（2021年度新規設定）

- ① 区画整理や地区計画などのまちづくりが進んだ地域でみどりを実感しやすくなったことが実績の前年度比増の要因と考えられる。
- ② 年齢層別で見ると、男性、女性ともに70歳代以上が50%台であるのに対し、それ以外の年代では60%以上の人がまちなかの花や緑が多いと感じていると回答している。

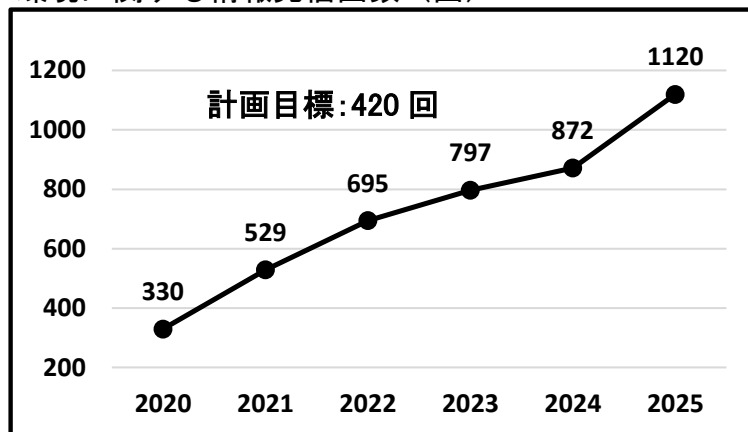
柱5 学びと行動のしくみづくり

指標と単位 (◆：低減目標)			2025年度 実績 (目標達成率)	計画目標	目標達成率 前年度比
5-1	成果	日頃から環境への影響を考えて具体的に行動していると答えた区民の割合（％）	73.0 (91.3%)	80.0	+4.9pt
	活動	環境に関する情報発信回数（回）	1,120 (266.7%)	420 (※1)	+59.1pt
	活動	環境学習プログラムに参加し、修了した人の数（累計）（人）	934 (97.5%)	958	+1.2pt
5-2	成果	自主的な環境保全活動数（回）	8,727 (623.4%)	1,400 (※2)	△48.0pt
	活動	区が実施する環境配慮を促す事業の数（事業）	98 (122.5%)	80	+26.2pt
	活動	エコ活動ネットワーク足立の登録団体数（団体）	— (※3) (—)	95	—

※1、2 第四次環境基本計画の策定では、実情に合った目標設定となるよう見直しを進めている。

※3 事業終了（SDGsパートナーへの登録を案内）

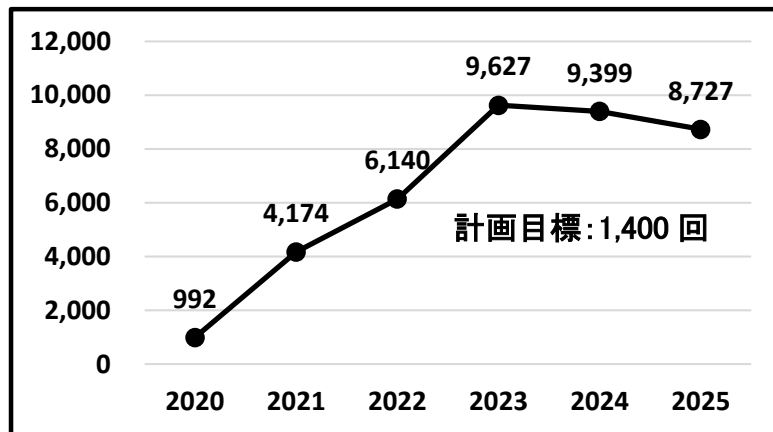
【５－１活動】環境に関する情報発信回数（回）



環境部がSNS、広報紙、チラシ、ポスター等で環境に関する情報を発信した回数

- ① SNS（X、Facebook）での情報発信が前年度比で大幅増となった。
- ② 生ごみ処理機に関連する情報発信を積極的に行った。
- ③ ごみ屋敷対策事業啓発ポスターを活用し、掲示板への掲示や SNS での情報発信を積極的に行った。
- ④ 不法投棄や落書きに関する情報を HP や SNS を活用し発信した。
- ⑤ 資源分別やプラスチック分別回収に関する情報発信を SNS や動画配信等により行った。

【５－２成果】自主的な環境保全活動数（回）



エコ活動ネットワーク足立登録団体による活動数、野鳥モニターの自主活動数、環境基金採択事業の実施数、フードシェアリングサービス(※)の利用数の合計値

※ 店舗から廃棄となりそうな食品の情報をアプリにより提供、必要とする方とつながることで食品ロスを防ぐ取組